

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 幸 楽
代表者	井上 良子
事業所名	小規模多機能ホーム すまいる
管理者	管理者 南谷 裕子
実施日	平成 29 年 1 月 26 日
作成日	平成 29 年 2 月 1 日

法人・事業所 の特徴	<p>利用者様と御家族様の生活を、継続、維持出来るように、併設の共同住宅入所やショートステイ、デイの通いを実施しています。</p> <p>ショート、訪問、通いに関しては、可能な限り臨機応変な対応をしています。</p> <p>利用者様1人1人のニーズに応えられるよう、担当を決めて計画立案と見直しを毎月実施し、毎月の全体会議において更なる見直しと、全員で計画を共有して日々の支援を行なっています。</p> <p>毎年、地域行事にも参加しています。</p>
---------------	--

出席者	苫小牧市職員	地域包括支援センター職員	町内会役員	民生委員	利用者家族	その他	事業所職員	合計
	1 人	0 人	3 人	2 人	2 人	人	3 人	11 人

【評価項目の達成度について】

- A : 十分にできている (76% ~ 100%)
- B : 大体できている (51% ~ 75%)
- C : あまりできていない (26% ~ 50%)
- D : ほとんどできていない (0% ~ 25%)

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
初期支援	1	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>利用開始前の関係者から、不足している情報を得る。各職種が必要な情報を収集し、持ち寄り早急に介護計画を立て、スタッフ全員に共有してもらう。</p>
	2	利用者や家族、地域住民等から意見や苦情があった場合、運営に反映されているか。又は、運営に反映する環境が整っているか。	B	B	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>サービス利用開始前に、利用者様、ご家族様、各関係機関と可能な限り、面談や書類を介して、その方へ対する情報を集めている。又、各利用者様の担当を割り当てて、支援開始時の問題点をケースやアセス、日々のミーティングで確認し、通いや訪問等の柔軟な対応を行っている。集めた情報を各担当者とミーティング（個別ケース会議）において、早急に介護計画を作成し、生活アセスメントシートに記載し、利用開始時にはスタッフが確認できるようにしている。</p>
	3	利用者の情報やニーズについて、サービス開始時にミーティング等を通じて把握しているか。	A	A	<p>【 意 見 等 】</p> <p>初期の利用者、家族は施設、各スタッフに不安を持っているものです、積極的にコミュニケーションを持つようにしていることは良い事だと思います。家族、介護者との交わりをもう少し強めたら（スタッフの底上げ）家族も安心すると思います。家族や介護者との円滑な関係作りについては、複数職員で関る場合、いつ誰が、誰とどの様な事を話合ったのか、職員間での情報共有が必要</p>
	4	利用者がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができているか。	A	A	<p>【 今 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>今まで以上に、積極的に関り情報を得る、得た情報を他のスタッフと共有する為に、センター方式のC-1-2表（心身の情報）をスタッフルームホワイトボードに貼り、随時記入して、毎日何度でもスタッフが見られるようにする。</p>
	5	利用者を支えるため、家族や介護者との円滑な関係作りができているか。	B	B	

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
目標の把握	6	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>安心、安全の為の計画は基本ベースとしつつ、精神面でのニーズを引き出すため外出やレク等を通して、興味のあるもの、得意なこと等の情報が担当者へ伝わるように、生活アセスメントシート of 生活状況記録欄に記載することで、次回の計画に生かす。</p>
	7	利用者の長期目標を把握しているか。	B	B	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>個別ケース鍵前に、担当者が立てた計画を、他のスタッフに確認、意見を求め、更に見直しをし個別ケース会議を行っている。 利用者様の精神面でのニーズを引き出すために、レクレーションや外出行事を通して、興味のあるもの、得意なもの情報がていた場合はアセスメントシートに記載し、会議での話し合い、次回の介護計画を立てている。</p>
	8	利用者の短期目標を把握しているか。	C	B	<p>【 意 見 等 】</p> <p>事前に問題点を洗い出し、見直しをしてから、ケース会議を多用している事は大変良いことと思います。 ケース会議、ミーティング等で個々の進捗状況を各スタッフが理解出来る工夫が必要では。 長期、短期目標をどの様に把握するかは、簡単な様で難しい課題だと思えます。 個人情報保護した形での目標の周知、目標を確認出来る様にするための方法が、ケアマネジャーの知恵の見せ所です。</p>
	9	短期目標の達成を意識して、日々の関わりができていますか。	C	B	<p>【 今回の改善計画 】</p> <p>毎月の個別ケース介護計画立案時に、毎回短期目標（長期目標）を検討（確認もしくは見直し）をし、これに基づいた介護計画を、全体会議で目標と同時に発表し、全員で周知する。</p>
	10	日々の様子をミーティング等で共有し、次の目標に活かしているか。	B	C	

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
生活の支援	11	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【前回の改善計画】</p> <p>センター方式の導入（勉強）し、情報収集したうえで、リスクマネジメントを意識しての計画立案、支援目的をスタッフ全員で確認し、共有、実施する。 社会資源を知り、外部からの通いの方は、担当スタッフが中心となり、その地区の民生委員や、その他の取り巻く方々とコンタクトをとり、情報交換し、地域支援マップを作成する。</p>
	12	自宅での生活環境を理解するため、普段の暮らし方（生活スタイル・人間関係等）を把握しているか。	B	B	<p>【改善計画の取り組み結果】</p> <p>外部からの通いの方の地区民生委員や、その方の取り巻く人等を知り、支援マップの作製を考えていたが、当施設の地区は出来ているが、他の地区の利用様の支援マップは作製出来ていない。 センター方式は導入出来ていないが、情報収集し検討した計画に対するリスクを考慮できるようになった。</p>
	13	利用者の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の基礎的な介護ができていますか。	B	B	<p>【意見等】</p> <p>その時の状態に合わせたサービスを提供出来ていることは大変良い事だと思います。今後も続けられるよう取り組んで下さい。 ショートステイを利用する方との当初の人間関係作りは大変だと思います、受け入れ時のケアマネジャーの対応によってスタッフも動き易くなります。 スタッフとのコミュニケーションを密にとるようにしてください。 地区担当の民生委員をどんどん活用してください。</p>
	14	利用者の気持ちや体調の変化について、ミーティング等で共有できているか。	B	B	<p>【今回の改善計画】</p> <p>利用者様の担当の変更があった場合も、地区担当の民生委員の方とコンタクトをとり、その後の情報交換を円滑になる様にする。</p>
	15	利用者の気持ちや体調の変化について、即座に対応できているか。	B	B	
	16	利用者の暮らしに必要な存在（民生委員や地域の資源等）を把握しているか。	B	B	
	17	家族や介護者、地域との関係が切れないう支援できているか。	B	B	

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
多 様 性 の あ る 支 援	18	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>介護の専門職としての意識を持ち、利用者様の変化に気づき、アセスメントシートへ記入し、サービス内容を検討する。</p>
	19	事業所内での支援に限らず、町内会行事等の地域を活用した支援が行えているか。	A	A	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>利用者様や、ご家族の要望に合わせサービス提供をしている。町内会行事へは積極的な参加をしている。町内会のボランティアに加入し、会員としての連携を取っている。</p>
	20	ニーズに応じた「通い」「訪問」「宿泊」を適切に提供できているか。	A	A	<p>【 意 見 等 】</p> <p>町内会行事でのフィールドワーカーとしての支援は大変喜ばれています。地域での事業所の発展に貢献するものと思います。町内会行事には積極的に参加しているが、参加者はいつも同じ人であり、他の人も参加することで交流が深まるので、参加した事無い人も交代で参加することができるような体制が必要ではないか。町内の一員として定着してきていることは、運営会議の中からも伺えます。</p> <p>【 今回の改善計画 】</p> <p>町内会の行事に全スタッフが交代で参加出来るように考慮して、シフトを決めて行きたい。</p>

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
事業所の様子	21	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>事業所の行事等の参加・見学の告知（ポスター、ポスティング）を行う。地域行事にはこれからも参加させて頂き、当スタッフも町内会のフィールドサポーターに参加し、夜の巡回等を検討、実施していきます。またスタッフ見守り、付き添いにて、近所の散歩等の外出を増やす。</p>
	22	事業所内や周囲の環境は、清潔な状態が保たれているか。	B	B	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>フィールドサポーターへの登録はしているが、全員が参加はできていない。利用者様、家族以外の地域住民の方の訪問はほとんどなく、開かれた事業所には至っていない。</p>
	23	事業所内は居心地のよい空間になっているか。	B	B	<p>【 意 見 等 】</p> <p>笑顔での挨拶が徹底されている事は大変良いと思います。 初期投資となり大変ですが、事業所周りの舗装は環境面や車椅子等の移動などの為にも早く実施した方が良いと思われます。</p>
	24	利用者の家族や地域住民等が、事業所を訪れているか。	B	B	<p>事業所内が居心地の良い空間になっているか、利用者アンケートをとって見るのも一つの方法。</p>
	25	訪問してきた方への挨拶やコミュニケーションができているか。	A	A	<p>【 今回の改善計画 】</p> <p>舗装は出来ないが、通路となる部分の大きな石や、危険物（釘など）を拾い、安全な通路の確保する。</p>

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
事業所の運営	26	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	【 前 回 の 改 善 計 画 】
					特定のスタッフばかりではなく、全員が地域と交流が図れるようにし、地域のご意見をお聞きし、運営に生かす。
	27	職員として意見を言いやすい環境が整っているか。	B	B	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】
					スタッフ全員がフィールドサポーターに登録をし、数人ではあるが、参加している。
	28	利用者や家族、地域住民等から意見や苦情があった場合、運営に反映されているか。又は、運営に反映する環境が整っているか。	B	B	【 意 見 等 】
					全体ミーティングでは言いづらい意見も個々の面談では言える事があります。個別面談（中堅の方々に）増やしてはどうですか。
28	利用者や家族、地域住民等から意見や苦情があった場合、運営に反映されているか。又は、運営に反映する環境が整っているか。	B	B	【 今回の改善計画 】	
				個別面談の機会を増やして行く。	

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
連携・協働	29	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>会議録については、ご出席頂けなかった委員の方へ、後日配布し、参加できないスタッフにも、スタッフ会議の場で報告し、意識の統一を図る。 地域の方々と各スタッフの連携が図れていない為、各スタッフが積極的に交流を持ち連携を図る、また地域での会議等にもスタッフが参加する。</p>
	30	運営推進会議を年6回以上開催しているか。	A	A	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>スタッフも可能な限り、運営会議に参加しており、会議内容についても、必要な内容についてはスタッフ会議で報告している。</p>
	31	運営推進会議では、事業所の取組に関する説明、事例検討、地域との連携等について、わかりやすく行っているか。	A	B	<p>【 意 見 等 】</p> <p>多様な仕事が多く、多忙の中で定期的開催されよく取り組まれていると思います。 各会議に全員が参加出来ないのは業務上仕方の無い事です。 各会議の内容を出席できない人達に伝える為にも全体ミーティングを通して問題点を全員に確実に報告し、全員で共有する事が大事だと思います。</p>
	32	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っているか。	A	A	<p>【 今回の改善計画 】</p> <p>運営会議に、スタッフも交代で参加できるようにする。</p>
	33	地域の各団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加しているか。	A	A	

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
災害対策	34	前回の改善計画について取り組んでいたか。	C	C	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>事業所内外での研修を多く持ち、意識を高める。 防災備品の充実を図り、避難所となるよう、町内会と連携し、体制作りを行って行く。</p>
	35	年に2回以上、事業所内での防災訓練等を行っているか。	B	A	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>年2回の避難訓練は出来ている。</p>
	36	事業所の避難マニュアル等を把握しているか。	B	B	<p>【 意 見 等 】</p> <p>評価が低いのは人命を預かる事業所として問題だと思います。 他施設でも災害に対する仕方に問題が出ていることでも早期に取り組む課題だと思う。 防災訓練を事業としてのトレーニングとしてとらえて、毎月でも実施したらと思います。 人員に限りがあるなら、町内会、近郊の人達を巻き込んだ訓練も必要と思う（万一の時のポーター型式も）</p>
	37	災害時における近隣の避難場所等を把握しているか。	B	B	<p>【 今回の改善計画 】</p> <p>防災マニュアルを完成し、スタッフ会議において、防災備品の充実を図り、内容や、期限等の確認をする。</p>
	38	事業所として地域の防災訓練に参加しているか。	D	D	

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
質 の 向 上	39	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	【 前 回 の 改 善 計 画 】 施設内研修の内容充実し、さらなるサービスの向上を図る。 リスクマネジメントに対する意識を高める取り組み、スタッフの質の向上を図る。
	40	研修（職場内、職場外）を実施、又は参加しているか。	A	B	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 可能な限り、施設内外の研修会に参加している。
	41	キャリアアップに向けた資格取得や研修参加等が行えているか。	B	B	【 意 見 等 】 多忙な中で各種研修会に参加して、キャリアアップの資格を取得している事は立派な事だと思います。 各種研修の中で、個々の仕事に何が活かせるのか、目的を持って参加し、その後フォローが必要だと思います。
	42	リスクマネジメントに取り組んでいるか。	B	A	【 今回の改善計画 】 外部研修の記録を、次の会議において発表し、内容について意見交換する。

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
人格の尊重	43	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>施設内研修で、人権に対する意識を高め、スタッフ間で指摘し合える関係作り</p>
	44	身体拘束を行っていない。	A	A	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>施設内研修は出来ており、少しずつではあるが人権を意識している。</p>
	45	虐待を行っていない。	A	A	<p>【 意 見 等 】</p> <p>問題が発生した時点で報告し、全体会議等でフィードバックし再発防止に努めていることは大変良い事だと思います。</p> <p>今後の施設運営を考えれば、（44項目）は全員がA評価の自己評価を付ける様にならなければいけない。そのためにも個々の孤立化を防ぐスタッフ間のコミュニケーション作りが大事になる。</p>
	46	個人情報 を 適正に管理している。	B	B	<p>【 今回の改善計画 】</p> <p>年数回、施設内研修で、虐待、拘束についての勉強会を行い、知識の見直しをする。</p>